

## 諸般報告（22年12月議会）

平成22年11月22日

議長のお許しを頂きましたので、町政の諸般についてご報告申し上げます。

始めに、国内外の話題であります。

まず、奇跡の救出となった南米チリの落盤事故であります。

8月5日にサンホセ鉱山で起きた落盤で地下600メートルに作業員33人が閉じ込められた事故では、チリ政府による必死の救出作業が進められました。

その結果、全員が無事生還を果たし、生中継されたテレビで見守っていた世界中が歓喜に包まれました。

この救出劇では、自ら申し出て最後の1人となった現場監督のルイス・ウルスアさんが、極限状態に置かれた作業員を強いリーダーシップで見事に統率していたことが伝えられ、その危機管理能力に内外から賞賛が寄せられました。

次は、日本人17人目・18人目となるノーベル賞受賞であります。

今年の化学賞を、鈴木章・北海道大学名誉教授と根岸英一・アメリカのパデュー大学特別教授のお二人が受賞されました。

受賞理由は、医薬品や電子材料など、様々な工業物質を効率よく合成する革新的な手法である「クロスカップリング反応」を開発したことが評価されたものであります。

2年前に、物理学賞を受賞した南部陽一郎氏、小林誠氏、益川敏英氏、並びに化学賞を受賞した下村脩氏に続く快挙であり、日本の科学技術水準の高さを世界に示すことができました。

次に、引き続き外交の混乱であります。

昨年来の普天間問題によって日本外交の基軸である日米同盟が揺らいでいることに加え、対中国・対ロシアでも、尖閣諸島沖での漁船衝突事件や北方領土問題を巡って摩擦が激化しております。

外交の行き詰まりを打開するうえで、諸課題も多く、日本の将来にとって大きな不安材料であり、安全保障の早急な構築が望まれるところであります。

続きまして、町政の状況についてであります。

まず、平成23年度の予算編成であります。

新年度予算編成方針につきましては、過日、議員各位にお示しをさせて頂いたとおりであります。

2年前の世界経済危機以降の急激な景気後退の影響を受けまして、本町の歳入においても、町民税の大幅な落ち込みに加え、地方譲与税や各種交付金なども、軒並み減収となっております。

そうした中、過去2カ年の予算では、喫緊の課題である学校・保育園の耐震対策の促進のほか、福祉制度の拡充や地域経済の振興を図る施策などに重点をおいて、積極的な予算を編成・執行してまいりました。

しかしながら、財源不足の手当てとして、これまで積み立ててきた基金の多くを取り崩すとともに、赤字町債をほぼ限度額まで借り入れてきたため、町財政は、たいへん厳しい状況に直面しております。

学校・保育園の耐震化に目処が立ち、経済情勢も、やや落ち着きを取り戻していることから、今後は、健全で持続可能な財政運営に軸足を移さなければならないと考えております。

予算編成作業は、各課からの予算要求が出揃い、査定にとりかかった段階であります。

一般会計における歳出要求の合計額は、約135億円、歳入見込みは、約107億円で、差引き約28億円の歳入不足となっており、このままでは、とても予算が組めませんので、普通建設事業を中心として10億円程度を圧縮し、125億円前後の予算とする予定であります。

従いまして、先にお配りをしました総合計画の「実施プログラム」に記載しております事業についても、緊急性の低いものは、先送りせざるを得ないと考えております。

なお、町の予算編成に影響を及ぼす国や県の予算につきましては、現時点では詳しい情報が入っておりません。

引き続き、国や県の動向に細心の注意を払い、本町に関わりのある制度改正や財源措置の状況等、各般の情報収集に努め、遺漏のない予算編成をしてまいりたいと考えております。

次に、各所管についてであります。

始めに総務部の関係であります。

まず、「第5次行革プラン」策定の進捗状況であります。

今月16日に、第1回の「行政改革推進委員会」を開催して、職員による策定部会で取りまとめた原案をお諮りし、活発な議論を頂いているところであります。

この後、12月にパブリックコメントを実施し、来年1月には再度委員会を開きまして、さらに細部にわたる審議をお願いする予定をしております。

また、議員各位には、本会議終了後に原案と委員会資料を配布させていただきますので、後ほど、お目通し頂きたいと思っております。

なお、今回の委員の選定に際しては、住民の皆さんから多様なご意見をお伺いするため、新たに公募枠を設けました。

全体の3分の1に当たる5人を公募したところ、7人の方から応募がありまして、抽選により委員を決定させていただきました。

次は、ISOの関係であります。

平成13年11月に認証を取得したISO14001ですが、既定の方針どおり、10月末をもって認証を返上いたしました。

今後は、これまでの9年間で培ったノウハウを活かして、庁舎内のみならず、「環境のまち武豊」を旨として、

全町的な環境活動の展開を図るべく、施策の充実に努めてまいり所存であります。

次に、「知多地方税 滞納整理 機構」の設立についてであります。

県と市町村が連携して地方税の滞納額の縮減と滞納整理事務の効率化を図るための組織づくりについて、かねてより全県的に検討が進められてきたところであります。

知多地方につきましても、課長レベルの研究会で検討を重ね、今般、県と5市5町の基本合意が得られましたので、来年4月に機構を発足する運びとなりました。

まずは、法定でない任意組織として、3年間の活動を行うこととなりますが、喫緊の課題である税の徴収率の向上、収入未済額の縮減に向けて実効性が発揮できればと考えております。

なお、当機構の詳細につきましては、12月度の「行政報告会」におきまして、ご報告をさせていただきます。

次に、防犯関係であります。

11月20日に中央公民館において愛知県との共催により「防犯ボランティア養成講座」を開催し、各防犯支部の代表者など35名の方々に受講していただきました。

講座では、日本防犯住宅協会の柴山明輝（しばやまひろき）さんに、「泥棒目線の住宅、地域環境の見方と対策」と題して、実践的な防犯対策のご講演をいただきました。

実際に外へ出て、歩きながら防犯診断を行うなど「フィールドワーク」もまじえた内容で、地域の防犯活動に直ちに應用できる大変、有意義な講座となりました。

今後とも、こうした取り組みを継続し、地域における防犯活動の核となる防犯ボランティアリーダーの養成に努めてまいりたいと考えております。

次は、厚生部の関係であります。

まず、「子ども医療費」の関係であります。来年1月からの拡大実施に向け、準備を進めております。

拡大対象となる中学生と、すでに受給者証を交付している小学生以下のお子さんに対しまして、有効期間を延長・更新した受給者証の交付準備を進めております。

これらの対象者数は、中学生1,189人、小学生以下は5,337人、合計6,526人となります。

次に、平成21・22年度の2カ年をかけ、「社会福祉協議会」に委託して策定を進めております、「地域福祉計画」の関係であります。

住民懇談会、作業部会、策定委員会でのご意見を参考に素案を取りまとめ、現在、「パブリックコメント」を実施しているところであります。より良い計画づくりを目指して参りたいと思っております。

次に、「憩いのサロン事業」についてであります。

現在、7地区で実施し、多くのボランティアの方々のご協力により、高齢者の皆さんに大変、好評を頂いております。

また、下門地区では、「サロン準備会」を開催し、区長さん、民生委員さんを始め、地域のボランティアの皆さんで、来年早々の開所に向け、具体的な検討に入っている状況にあります。

多くの関係者に、この場をお借りして、感謝を申し上げる次第であります。

次に、六貫山保育園 耐震改築工事の関係であります。

10月末の建築工事の進捗率は、37.0%で、予定より2%上回っており、工事は順調に進んでおります。

今後は、1月末頃に本体園舎工事を完了し、2月中旬から、新園舎での保育を開始したいと考えております。

次に、「長尾児童クラブ」の武豊小学校内への移設の関係であります。

11月1日から長尾児童クラブを武豊小学校内へ移設し、順調にスタートをしております。

今回の整備により、利用児童の一層の安全確保と定員増を図ることが可能になりました。なお、名称につきまして、

「長尾児童クラブ」から「武豊児童クラブ」に変更させて頂きました。

次に、「保育園等整備計画」の策定状況であります。

この計画は、昨年度策定した「保育園等基本方針」に基づき、中長期的な視点から、保育園等の整備・運営につきまして、具体的な計画を取りまとめるものであります。

9月21日と11月10日に、「保育所運営審議会」を開催致しまして、ご審議頂きました。今後は、パブリックコメントを実施するとともに、その結果をもとに、更にご審議を頂く予定であります。

次に、「緑のカーテンコンテスト」の関係であります。

ご家庭で気軽にエコライフが実践できる

「緑のカーテン」の普及で、町民の皆様が地球環境や自然について考えるきっかけとなるよう、コンテストの開催を致しました。

応募者数は39件でありましたが、猛暑の影響からか、生育が思わしくないとのことで、結果、審査対象となる写真提出が20件ありました。

どの写真も創意工夫され、緑豊かな「緑のカーテン」となり、地球温暖化対策に、ひと役買っていると感じられました。

私と議長さん、そして、県地域環境保全委員さんで審査させて頂き、最優秀賞1点、優秀賞2点、努力賞3点を選定致しました。詳しくは、12月1日号「広報たけとよ」と「ホームページ」に掲載する予定を致しております。

次に、「住宅用 太陽光発電システム 設置費補助金」及び「住宅用 高効率 給湯器 設置補助金」の関係であります。

「住宅用太陽光」発電システム設置補助金につきましては、11月9日現在、86件の交付決定、補助金額の累計額は、620万円になっております。

前年度実績 87 件を大幅に上回る設置が予想され、9月議会定例会で補正予算をご可決頂き、普及促進を進めているところであります。

また、今年度からスタートしました「住宅用 高効率 給湯器 設置補助金」につきましても、当初予算で 100 件を見込んでおりましたが、大きな反響を頂き、11月9日現在、交付決定件数 89 件、補助金額で 178 万円となっております。

このため、本定例会に補正予算案をご提案させて頂いておりますので、よろしくお願いを致します。

クリーンなエネルギーで、低炭素社会を実現するためにも、これらは重要な施策であると考えております。

今後も、様々な機会や事業を捉え、「環境のまち武豊」を目指して参ります。

次に、10月17日に開催致しました、「第30回武豊町健康まつり」の関係であります。

当日は、高齢者で歯の健康な方へ「8020表彰」や、ミニ健診等、様々なイベントを実施し、健康の大切さを再認識する機会となりました。

今後も、住民の皆さん自らが健康づくりを実践して頂けるよう、各種事業を進めて参りたいと、考えております。

次は、産業建設部の関係であります。

まず農業関係であります。

愛知用水につきましては、10月3日をもちまして夏季灌漑の通水が終了され、現在は冬季灌漑に入っております。

今年の水稲の作況指数ですが、愛知県は全国平均と同じ98の「やや不良」という状況でありました。

天候には恵まれましたが、猛暑による影響があったものと思われれます。

食料自給率の向上、水田農業の経営安定を図るため、本年度から始まりました「戸別所得補償制度モデル対策」事業につきましては、10月末にとりまとめを終え、国に関係書を提出致しまして、年内に補助金が関係者に交付される予定であります。

次に、第27回産業まつりは、11月13日、14日の両日に開催されました。天候にも恵まれ、多くの住民の方々にご来場いただき、地産の農産物などの買い物や催し物を楽しんで頂けたものと思っております。

武豊町の地場産業の情報発信、地域経済の活性化そして、地域の絆を深める機会として、「産業まつり」の果たす役割は、大きなものがあると思っております。

次年度も、多くの住民の皆様にご来場頂き、そして、楽しんで頂ける「産業まつり」となりますことを期待しております。

次は、道路事業の関係であります。

10月の行政報告会におきまして、ご報告させて頂きましたが、町工事の西側土地区画整理地内の知多東部線の道路改修工事につきまして、11月上旬に発注したところであります。

そして、知多東部線の残工事につきましては、現在、愛知県により、全線にわたり実施されておりました、平成23年3月18日の供用を目指しているところであります。

次に、交差点改良事業についてであります。

昨年度より改修を進めてまいりました都市計画道路環状線と梨子ノ木線の交差点におきまして11月1日に信号機が点灯され、歩行者や車両の安全な通行が確保されました。

この工事にご協力を頂きました地権者を始め地域の皆様方のご協力に、感謝申し上げます。

次は、教育委員会の関係であります。

まず、今年度実施の耐震対策事業の進捗状況であります。

今年度の耐震工事につきましては、順調に進んでおりました、

衣浦小学校と富貴小学校の耐震補強工事は、10月末日をもって無事に完了いたしました。

富貴中学校・武豊小学校の耐震補強工事及び緑丘小学校の校舎増築工事につきましても、ほぼ計画どおりに進んでいるところがあります。

「武豊中学校 校舎耐震 改築工事」につきましては、  
昨年の9月議会で契約議決をいただき、その後、工事は順調に進み、年内に完成する予定であります。

また、12月21日には、「竣工式」および内覧会を予定しており、生徒たちは3学期から待望の新校舎で学校生活を送ることのできるよう、予定しております。

次に、「たけとよウォーカー」の関係であります。

去る10月10日の日曜日、  
「武豊の魅力を再発見！知る・観る・味わう秋の一日」と題しましてウォーキングイベントをメインに実施致しました。

当日は、町内外から2,000人を超える方々がイベントに参加されました。その内1,732名の方々には、3つのコースに分かれ、それぞれウォーキングを楽しんで頂き、町の魅力を再発見されたことと思います。

また、体育館内外では、「スポーツクラブ体操教室」の子供達による発表会や、環境、観光の展示、クラブの紹介、模擬店なども実施いたしました。

参加者には、各商店等より協賛頂きました品々が当る、「お楽しみ抽選会」を実施し、秋の一日を楽しんでいただきました。

大会を支えて頂きました実行委員をはじめ、クラブ関係者、地元企業、商店等の関係者各位に、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

次に、文化芸能関係であります。

文化協会芸能祭は、10月11日に民謡・舞踊などの16団体が60演目について、日頃の練習の成果として披露されました。

また、町民文化祭は、11月1日から3日間、979名の方々が1,496点の作品を展示され、大変、多くの方々に鑑賞して頂きました。

各々の作品が、年々すばらしく目をみはるものばかりで、日ごろの鍛錬振りが、垣間見られ、感動の文化祭になったことと思っております。

また、12月以降も、各種の公演や絵画展等が予定されております。とりわけ本年度は、2年に一度の「春の音楽祭」として、「名古屋フィルハーモニー交響楽団」や「熱帯ジャズバンド」のコンサートのほか、住民参加による数々のコンサート等も予定されておりますので、ぜひお出かけ頂きたいと思っております。

最後に、成人式の関係であります。

来年1月9日の日曜日に、町民会館において開催の予定を致し

ております。

現在、「成人式実行委員会」が8名で組織され、その準備を進めております。

なお、新成人者数は、530名で、前年より26名の減であります。

議員各位には、後日ご案内申し上げますので、ご出席頂きますようよろしくお願い致します。

以上で諸般報告といたします。